



旭が丘小学校だより

令和4年12月9日 25号

文責 校長

～子どもを理解すること～

令和4年が間もなく終わろうとしています。皆様にとって今年はどんな年だったでしょうか。おかげさまで私は、子どもたちや先生方と共に学校生活を重ねる中で、大変実りのある一年となりました。

そんな中、教師として一人の親として特に感じたのは、子どもを理解する・大切にすることの難しさです。子どもを理解することは学校でも困難な場合があります。私自身子どもには私たちが気づかない側面や感じ方があるなどと思わされる場面が何度かありました。一番理解しているのは、きつとずっと関わってきた保護者の皆様です。しかしながら時として子どもには、学校の顔、家庭の顔の二面性を感じることもあります。また、学校で話をしたり、確認したりすることと違う話が家庭でなされていたりすることもあります。このあたりに難しさを感じます。

学校としては、今後も子どもの聞き取りや確認を大切にしていきます。子ども理解で最も大切なのは、子どもをより良い方向に導いていくために、学校でもご家庭でも日頃より子どもの話をしっかり聞ける関係をつくることだと考えます。その上で、子どもの話を信じつつも本当にそうかと聞いてみるなど、矛盾点などを明確にしておくことも大切です。間違いや勘違い、勝手な解釈だけがまかり通っていくと、子どもは自分の都合で物事を解釈してしまい、他人意識が持てず、後々人間関係に支障をきたしてしまうことになりかねません。いいこともよくなかったことも、成長の糧としてしっかりと向き合い接してあげたいですね。

<子ども県展 特選おめでとう！>

今年度も第68回「子ども県展」の結果が届きました。今年も特選と入選の子どもたちがたくさんいて大変嬉しく思います。特選となったのは、岩永 さん（2年1組）、俵 さん（2年4組）、橋本 さん（3年3組）の3名でした。素晴らしいですね、おめでとうございます。入選の人もたくさんいました。

絵画を含む作品作りは、子どもの個性を表現できる大きな術だと思っています。これからも子どもたちを伸ばすために励ましていきたいです。

～家庭学習の大切さ・習慣化の必要性～

とある会議で、大村市の学力向上に関する課題の一つとして、学習習慣の確立が十分になされていないこと、家庭での絶対時間が明らかに不足していることが明らかになりました。

いつでもどこでも学べる環境づくり、個別最適な学びの環境づくりが今重要視されています。タブレットの活用も含めたご家庭での学習について、今後提案も含めてさらに充実させていきたいと思ひます。



<帰宅時刻、ご確認を>

子どもたちには注意しましたが、現在夕方5時までには帰宅をするのが長崎県のルールです。しかしながら、5時過ぎまで外で遊んでいる子どもたちを時々見かけます。ご家庭でも再度お話しください。

★ あぶない 学校入口前、赤迫公民館下 ★

旭が丘小学校周辺は近年車両が増え、車による事故が心配されます。特に表題にある2か所については、今年度保護者の方からも指摘があったところです。交通安全の主人公となるように、これからも安全指導を進めていきます。今年度もPTAと学校の共催で、危険箇所アンケートを実施します。子どもたちの安全な登下校環境づくりについてご協力をお願いします。

(参考) 令和3年度の危険箇所アンケート集約

※令和3年度の対応として、学校周辺通学路のグリーンベルト化を実施していただけることになりました。

- ① 中村商店付近から東大村小学校に向けて続いている坂路で車のスピードが速い。渡る子どももいて非常に危険である。
- ② 後木場バス停前の横断歩道に信号機がないため危険である。接触しそうな事案あり。
- ③ 赤佐古公民館前の道路を利用する車の速度超過が目立ち、見通しが悪いところもあってドライバーも気づきにくい。道幅も狭く歩行する子どもが危ない。
- ④ 向木場公民館から住吉神社付近の道路は、歩道がなく道路も狭く危ない。車のスピードも速い。
- ⑤ 大中バス停前の横断歩道は、上からスピードを上げてくる車も多く、歩行者も確認しにくいいため、とても危険である。
- ⑥ 東平橋付近は歩道がとても狭く、かなり危険である。トラックを含め車両が多い状況で、以前「スピードおとせ」の表示が書かれたが、改善されていない。いつ事故が起こってもおかしくない。
- ⑦ 高速道路をまたぐ清水川橋手前の交差点からの側道は、白線はあるが子どもの通学にはとても狭く、かなり危険である。いつ事故が起きてもおかしくない状況である。
- ⑧ 大村中学校横のいわゆる「大中坂」は、通学しているのにも関わらず速度規制がないので大変危ない状況である。指定のゾーンにして速度規制をかけてほしい。
- ⑨ 最近旭が丘小学校地区以外からの自動車が多く（保育園送迎など）スピードが速く危険なので、保育園を含めて注意をしてほしい。
- ⑩ 徳泉川内町796番地付近の側溝が、増水時に氾濫を起こし危険である。
- ⑪ 中村商店からセブンイレブンへ向かう途中の三差路の角の看板で、視界が妨げられ危ない。
- ⑫ パールハイム上の三石バス停付近の交差点で、侵入してくる車のスピードが速く危険である。
- ⑬ 後木場橋から旭が丘小学校に向けての坂道は児童が多く、下る車と接触しそうで危険である。
- ⑭ うきうき学童そばのミカン畑近くの交差点は視界が悪く、歩行者が見えにくい。
- ⑮ 木場郵便局から高速道路に向かう信号機までの道路のカーブ付近でスピードが速い車が多く危険である。「スピード落とせ」の道路標示があればいい。
- ⑯ 赤迫公園近くの自動販売機付近の雑木が地地下2mまで迫っており通行の際危険である。
- ⑰ 中村商店から旭が丘ストアにかけての一方通行時間帯が、登校時間とずれている。7：00～8：00に変更できないか。
- ⑱ 玖島三丁目あたりから赤佐古町・大村中学校につながる坂道は、歩道の幅がほとんどなく車両の通行量も多く、視界もよくない。安全上何らかの対策が必要である。

主な共通点は交通安全に関することでした。令和3年度の環境改善の願いとして、

○車両のスピードが速く狭いところは特に危険であるため、交通規制をしてほしい。

○車両が多い横断歩道に信号を付ける、道幅の改善など、施設面で改善をしてほしい。